

# 上空に街を

— 愛知県瀬戸市採掘場跡地における空間創出の提案 —

役目を終えた採掘場跡地の遺産に、  
街レベルまで高く持ち上げられた建築を創出させた。

時が経つ。

育った建築と森は、周囲の街並みと連続した風景をつくりだす。

そこには、プリミティブな楽園空間が誕生する。





### Site:愛知県瀬戸市珪砂採掘場

敷地は、愛知県瀬戸市珪砂採掘場を選定します。瀬戸市は、名古屋市の東約20kmに立地する緑豊かな街でありながら、「せともの」の生産地として、1300年のやきものの歴史と伝統が息づいています。その瀬戸市に通称「瀬戸のグランドキャニオン」と言われる広大な採掘場があります。現在は稼働中ですが、将来の跡地利用が無計画のまま負の遺産となることを懸念されている場所です。

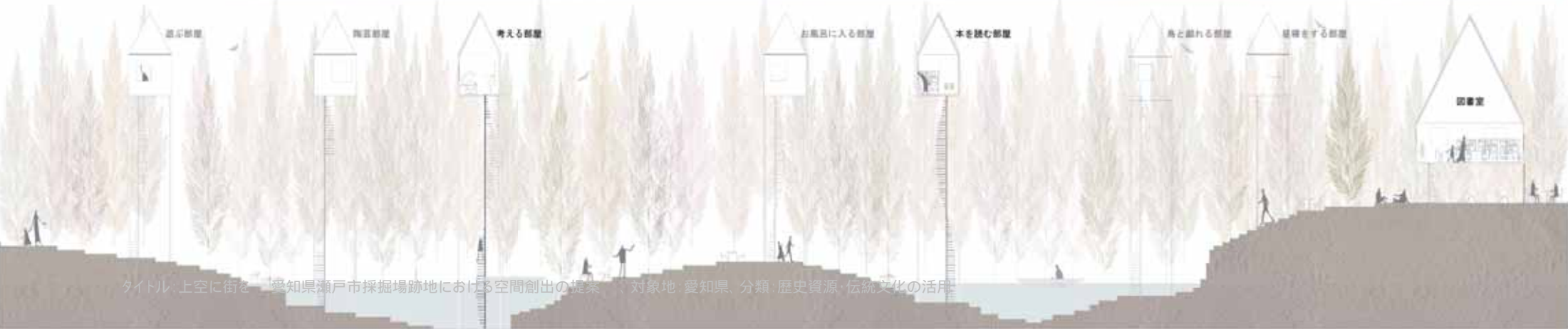
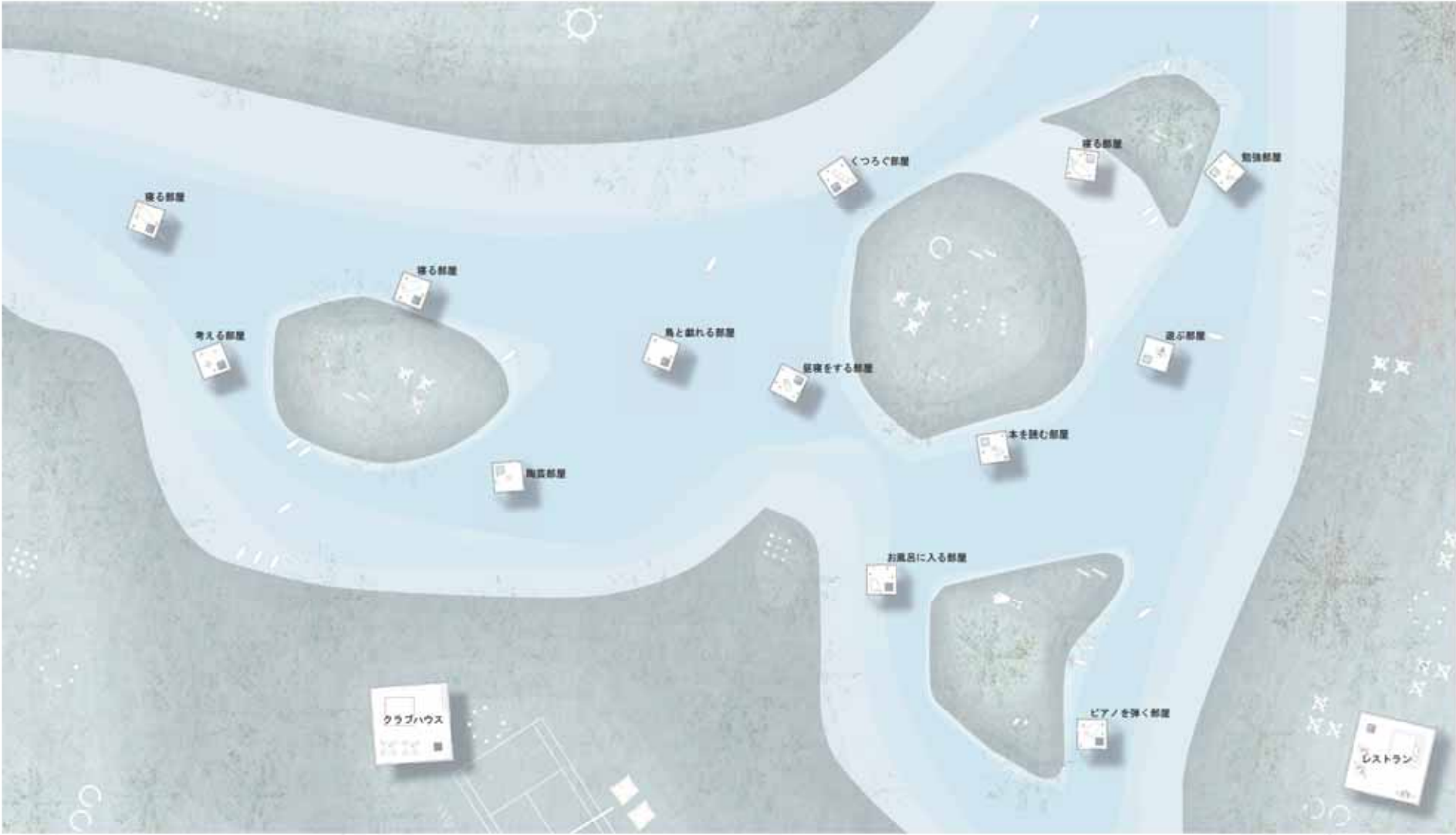


### Section 1:採掘場跡地



### Section 2:夢アイデア

広大な遺産に、訪れた人々が、それぞれ思い存む場所となり瀬戸市の生態と親しめるよう、建築を与えます。遺産は、現代人をプリミティブで穏やかな空間へ導きます。日常から少し離れた、瀬戸市の新しいランドスケープとなるでしょう。



タイトル: 上空に街をー愛知県瀬戸市採掘場跡地における空間創出の提案ー、対象地: 愛知県、分類: 歴史資源・伝統文化の活用



### 水辺の挿入

凹凸の激しい敷地は、水辺によって人々の交通を可能とします。  
 大きな島では、皆が集まり、交流の場となります。  
 人々が、近寄れない島々では、鳥たちが羽を休めます。  
 無作為な敷地は、水辺によって秩序が生まれます。



### 自然との出会い

将来、自然が育ちます。  
 瀬戸市ならではの生態系が形成されるでしょう。  
 そこで、人々は自然と共生します。  
 生態との出会いは、自然環境の啓蒙効果に繋がります。



瀬戸市の街を眺める



コノハズクと目が合う



鳥の巣を発見



ハナノキの雄蕊を観察



ハナノキが育つ



カタキツバタ園での生態観察



蝶との出会い



カタキツバタの発見